



県外から平館高校への進学につなげる

「おためし地域留学」で市の魅力を体験

問い合わせ先 企画財政課(☎・内線1207)

市と平館高校は、都道府県の枠を越え、県外から平館高校に進学する生徒を受け入れる「地域みらい留学」の取り組みを進めています。その一環として、県外の中学生在が本市に短期間滞在し、地域みらい留学を体験する「おためし地域留学」を8月3日から5日までの3日間行いました。

当日は、北海道や島根県など7都道県から中学生10人が本市を訪問。本市の自然や文化を体験し、学校生活に向けた地域での暮らしに理解を深めました。

▶地域みらい留学とは

(一財)地域・教育魅力化プラットフォームが行う国内進学プログラムで、生徒は、同プログラムの



支援により、都道府県の枠を越え、より多くの高校から、自分の興味関心にあった高校を選択することが可能に

なりました。市は6年度から地域みらい留学の仕組みを活用。平館高校と連携し同校への入学者確保に取り組んでいます。

▶本市の魅力を体験した参加者

滞在中、参加者は、松川地熱発電所や8テラスなど本市の特徴的な施設の見学を行ったほか、平館高校を見学。平館高校の魅力や通学方法、卒業後の進路について、在校生とざっくばらんに語り合った参加者は、自身が同校で学ぶ姿を想像した様子でした。



▶平館高校のさらなる魅力発信と地域の活性化へ

市は平館高校の入学者数確保のため、同校の魅力向上を支援するとともに、入学者の受け入れ体制の整備に引き続き取り組んでいきます。

今回の「おためし地域留学」では、地熱蒸気染めのほか、川遊びを体験することができ、とても楽しかったです。平館高校の見学があったという間に終わってしまったと感じたので、学校のことを、もっと深く調べる必要があると思います。人の優しさや地域の雰囲気など、進学先としてとても魅力的だなと感じました。

もともと、少人数の高校に行きたいと考えていて、母から「地域みらい留学」という仕組みを聞いたことをきっかけに興味を持ちました。「おためし地域留学」プログラムの中で、これまで訪れたことのない岩手県に行ってみようと、参加を決めました。



東京都から参加した
富士原 のどか さん